

告示	番号	22	免疫疾患
	疾病名	慢性皮膚粘膜カンジダ症	

慢性皮膚粘膜カンジダ症

まんせいひふねんまくかんじだしょう

概念・定義

皮膚、爪、粘膜などの再発性、難治性カンジダ感染を特徴とする原発性免疫不全症候群である。通常は慢性に持続する表在性の真菌感染症である。遺伝性なものには常染色体劣性遺伝形式のものと、常染色体優性遺伝形式のものがある。

症状

皮膚、爪、粘膜などの慢性難治性カンジダ症である。深部真菌感染症は通常おこさない。1歳以前に発症することが多いが、遅発性の発症を呈する場合もある。細菌感染症や、ヘルペスや水痘、サイトメガロウイルス感染症などの重症化や反復も認められる

合併症

甲状腺機能異常症、自己免疫疾患、頭蓋内動脈瘤が合併することがある。頭蓋内動脈瘤は死亡の原因となり得る

治療

抗真菌剤の局所投与は有効とは言えない。抗真菌剤の全身投与は有効であるが、次第に有効性が落ちる。内分泌異常を合併した場合はホルモンの補充療法が必要となる

抜粋元：http://www.shouman.jp/details/10_6_47.html